

2021年度リサーチ・コロキウム実施要領

1. 目的

博士後期課程の学生の博士學位論文執筆を支援し、集団指導を受ける機会を設けること。

2. 対象

社会学研究科博士後期課程の2年生および3年生（2019年4月以降の入学者、ただしすでに學位論文計画書を提出し、合格した者を除く）。

強制ではありませんが、該当する学生は特別な事情のない限り参加してください。

3. 日時

2022年1月25日（火）

人数に応じて会場を分割し、zoomによる開催とする。

4. 内容

- (1) 報告内容は、博士論文の序章もしくは1章分に相当する内容とする。具体的な内容は、指導教員及び論文指導委員と相談して決定する。一例として、問題意識と論文のテーマ説明、先行研究のレビュー、論文の主張と独自性、用いる方法と資料、全体の構成と概要、文献一覧。
- (2) ペーパーは開催1週間前までに、指導教員と論文指導委員に送付する。分量のしぼりは特に設けない。目安は16,000字程度とする。
- (3) 指導教員及び論文指導委員が研究上必要と判断し、承諾した場合には、ペーパーを英語で作成することができる。英文の目安は6,400ワード程度とする。
- (4) 一人当たり報告20分、質疑20分とする。パワーポイント等を用いた報告が望ましい。
- (5) 複数の会場での同時開催とし、指導教員・論文指導委員は当該の会場に出席する。
- (6) シンポジウム形式とし、大学院生全員に公開する。報告者と同じ専門の大学院生は、当該の会場に出席することが望ましい。
- (7) 先行開催であるため、可否の判定は行わないが、目安となる基準は以下のとおりとする。「學位論文審査の基準」に順じ、以下の点を総合的に考慮して、研究者として自立した能力を示す學位論文執筆の準備ができていると判断されること。

参考： 学位論文審査の規準

1. 問題意識が明確であり、かつテーマ設定が説得的であること。
2. 当該テーマのための方法が形成されており、かつ全体の叙述の中に貫かれていること。
3. 内外の研究文献と研究状況が必要な限りで把握されており、それを前提として展開されていること。
4. 叙述の過程の中で適切な仕方で論証および実証がなされていること。
5. 結論がそれまでの展開を踏まえて説得的に提示されていること。
6. 全体として、当該テーマに関する従来の研究状況に対して、意識的にオリジナリティーをつけ加えていること。

以上の項目は研究分野によってその必要度が異なるので、それを考慮して柔軟に適用するものとする。

- (8) リサーチ・コロキウムでの報告と討議を踏まえ、学位論文計画書を提出すること。
(2023年度入学者までの一時的措置)

5. エントリー

エントリーシートに必要事項を記入し、事務室にメールで送付すること
(soc-km@ad.hit-u.ac.jp)。申込期間は2021年6月～10月末日。